

跡地活用方針

行政的要因

- ① 桑名都市計画用途指定
病院敷地及び隣接地
第二種中高層
周辺地域 第一種低層
- ② 桑名市総合計画
居住ゾーン
- ③ 桑名市都市計画マスタープラン
計画的整備市街地
- ④ 建築基準法
新耐震基準未達成

《住居地域》

住宅・店舗・公共的施設

社会的要因

- ① 桑名市将来人口
2040年 122,202人
- ② 桑名市65歳以上人口
2040年 34.5%
- ③ 大成地区同水準推定
- ④ 地域課題
救急医療、移動・交通手段
暮らしやすい街づくり
地域とのつながり
- ⑤ 大成地区内の医療機関は多いが
医療センター周辺にはない

《高齢化》

医療・街づくり・連携

地理的要因

- ① 桑名駅に徒歩15分圏内
- ② 駅前市街地、大型商業施設に至便
- ③ 桑名IC及び桑名東ICまで
約10分
- ④ 交通至便地であり、かつ、閑静な
住宅区域

《利便性》

交通至便・閑静な住宅地

《跡地活用方針》

- ① 住居地域として、交通の利便性、閑静な環境を背景に、各世代が
暮らしやすく、魅力ある街をつくる。
- ② 安心・安全に暮らせるため、医療・福祉に配慮した街をつくる。

1. 年齢層別における地域の課題

●地域の課題（年齢別：上位5位）

(%)

20～29 歳	
救急医療	26.5
移動・交通手段の確保	23.5
障がいのある人や高齢者が暮らしやすい環境づくり	20.4
共働き家庭の子どもの生活	20.4
子どもの遊び場	17.3

50～59 歳	
救急医療	40.2
障がいのある人や高齢者が暮らしやすい環境づくり	24.2
地域の人たちの付き合い方	22.1
一人暮らし高齢者の生活支援	20.5
移動・交通手段の確保	16.0

30～39 歳	
救急医療	35.4
子どもの遊び場	25.9
小児医療	25.9
道路の整備	20.3
移動・交通手段の確保	17.1

60～69 歳	
救急医療	25.7
障がいのある人や高齢者が暮らしやすい環境づくり	24.0
地域の人たちの付き合い方	22.8
移動・交通手段の確保	17.1
一人暮らし高齢者の生活支援	21.0

40～49 歳	
救急医療	28.3
学校教育	19.5
道路の整備	19.0
子どもの遊び場	19.0
移動・交通手段の確保	18.6

70 歳以上	
障がいのある人や高齢者が暮らしやすい環境づくり	29.3
一人暮らし高齢者の生活支援	20.4
高齢者などの介護	20.1
救急医療	19.8
地域の人たちの付き合い方	18.9

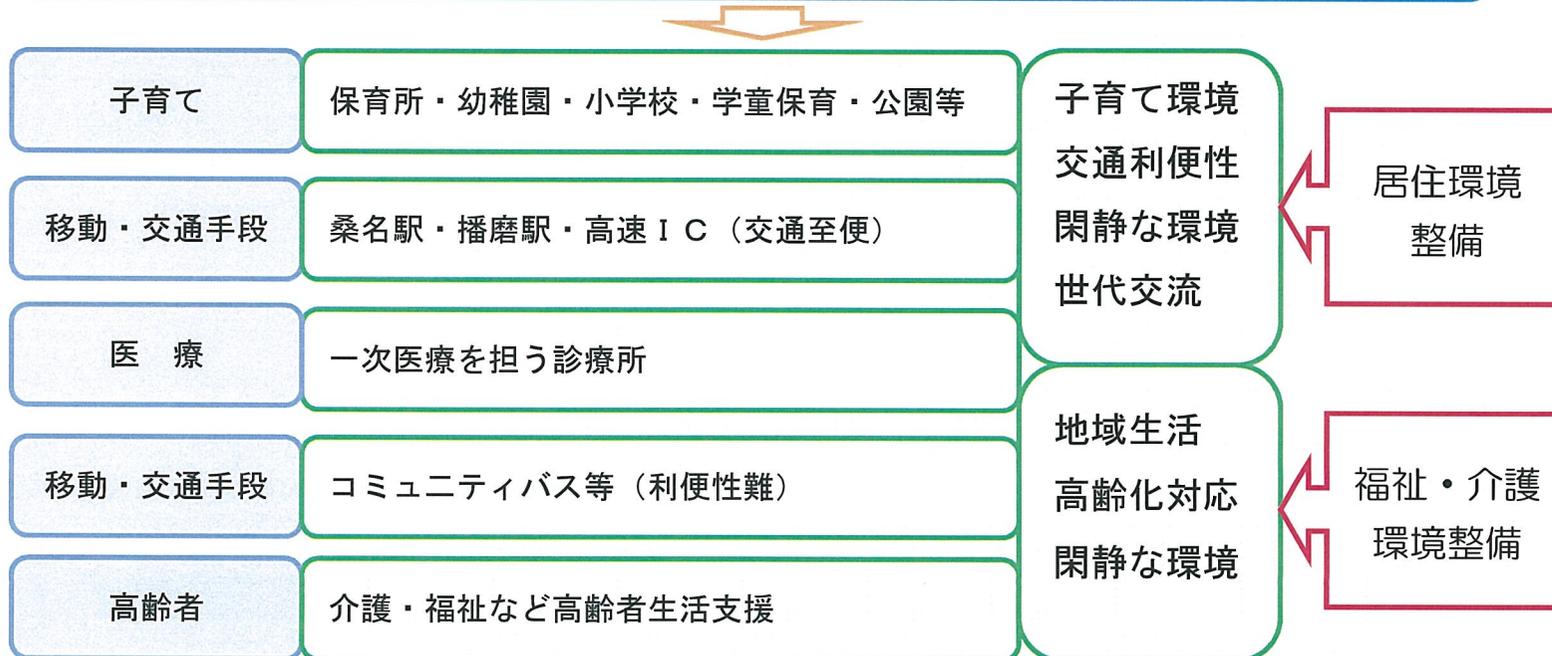
（桑名市地域福祉に関する市民アンケート結果報告書 平成 25 年 3 月）

2. 子育て世代と中高齢世代での地域の課題

20～49 歳
救急医療
小児医療
共働き家庭の子どもの生活
子どもの遊び場
学校教育
移動・交通手段の確保
道路の整備

50 歳以上
救急医療
障がいのある人や高齢者が暮らしやすい環境づくり
地域の人たちの付き合い方
一人暮らし高齢者の生活支援
高齢者などの介護
移動・交通手段の確保

65歳以上の高齢者は、2010年の5人に1人から2040年には3人に1人



3. 居住環境整備

地元意向キーワード

- ① 民間に売却される際には、健全な住宅関係メーカー
- ② 良好な居住条件を備える住宅地
- ③ 一層高齢化が進むことから、優良な住宅地として開発して、子ども、若者、子育て世代が集う街づくり
- ④ 新たな診療所の設置
- ⑤ 戸建分譲地

地域要因

- ① 桑名駅に徒歩 15 分圏内
- ② 桑名 IC 及び桑名東 IC まで約 10 分
- ③ 駅前市街地、大型商業施設に至便
- ④ 閑静な住宅地
- ⑤ 保育所、学校等教育環境充実
- ⑥ 高齢化
- ⑦ 地区内に医療機関がない



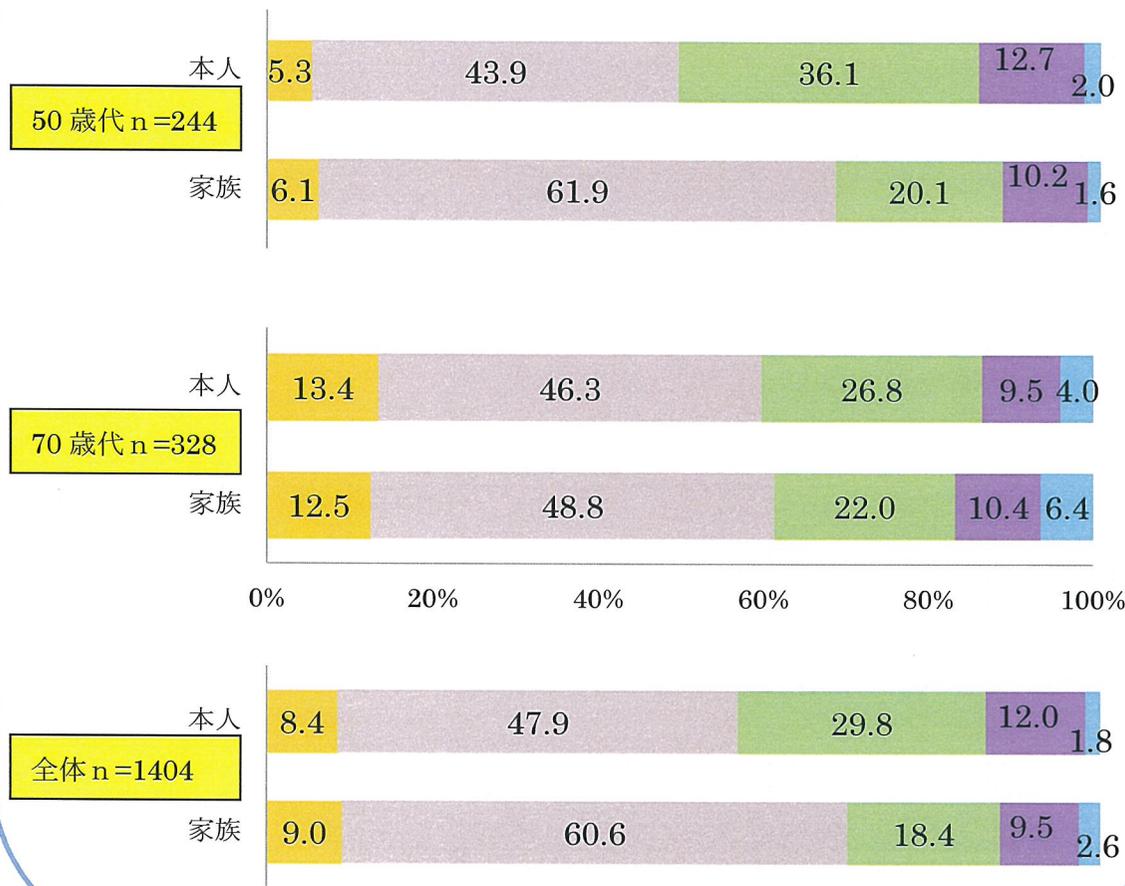
- ① 桑名西医療センター跡地周辺は、優良な住宅区域であること、今後、高齢化が進むことから、多様な世代が集う住宅整備を図る。
- ② 地区内に医療機関がなくなることから在宅療養支援診療所等の誘致を検討する。
- ③ 桑名西医療センター跡地の持つ可能性を最大限に引き出すため、専門性、実績を有する事業者を募集し、事業計画の提案を受ける。

4. 福祉・介護環境整備

介護の考え方（桑名市地域福祉に関する市民アンケート）

介護が必要になった場合の希望

① ② ③ ④ ⑤



【本人又は家族に介護が必要になった場合】

- ① 自宅で家族などを中心に介護
- ② 自宅で介護サービスなどを活用しながら介護
- ③ 福祉施設や病院などに入所（入院）
- ④ わからない
- ⑤ 無回答

- (1) 50歳代、70歳以上及び全体
自宅での介護サービス利用の割合が高い
- (2) 50歳代
家族に比べ本人は、通所サービスより施設サービス利用の割合が高い
- (3) 70歳以上
本人と家族の差はあまりなく、家族介護及び通所サービスを利用しながら自宅での介護の割合が高い
- (4) 全体
60歳代以下の調査件数は76%を占め、本人と家族の介護形態に差があるが、介護が現実的となる70歳代では(3)の結果となっている。

地元意向キーワード

- ① 民間に売却されるときには、老人介護施設等の福祉関係に限定
- ② 認知症対応型共同生活介護施設の設置
介護をだかえる家庭の中で一番苦労されるといわれる認知症の高齢者も増えると思われるため
※高齢者人口の約1割、要支援・介護認定者の6割が認知症高齢者（社会保障審議会介護保険部会：47回資料）

地域要因

- ① 桑名市と同様に大成地区も、2040年には3人に1人が65歳以上
- ② 65歳以上高齢者の約半数は、単身又夫婦世帯（平成22年国勢調査）
- ③ 地域内に通所介護施設が少ない
- ④ 70歳以上の高齢者が通所サービス等を利用しての自宅介護の希望が多い



- ① 桑名西医療センター跡地の広さ、閑静な環境を活かし、地域ニーズを踏まえ、介護事業での通所及び居住系サービス、住宅事業者によるサービス付き高齢者向け住宅及び在宅療養支援診療所などを整備する。
- ② 在宅生活を支える多様な事業主体による生活支援サービスを提供する。
- ③ 高齢者福祉事業に専門性、実績を有する事業者を募集し、事業計画の提案を受ける。